



Cisco Unified Communications Manager での 電話機の設定

- [Cisco IP 電話のセットアップ](#) (1 ページ)
- [電話機の MAC アドレスの決定](#) (5 ページ)
- [電話機の追加方法](#) (5 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager におけるユーザーの追加](#) (7 ページ)
- [エンド ユーザ グループにユーザを追加する](#) (9 ページ)
- [電話機とユーザの関連付け](#) (10 ページ)
- [Survivable Remote Site Telephony](#) (10 ページ)
- [Enhanced Survivable Remote Site Telephony](#) (14 ページ)
- [アプリケーション ダイアルルール](#) (14 ページ)

Cisco IP 電話のセットアップ

自動登録が有効ではなく、電話機が Cisco Unified Communications Manager データベースに存在しない場合、Cisco Unified Communications Manager の管理で Cisco IP 電話を手動で設定する必要があります。この手順の一部のタスクは、システムおよびユーザのニーズによっては省略できます。

Cisco Unified Communications Manager の詳細な管理方法については、該当する Cisco Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、次の手順で設定を実行してください。

手順

ステップ 1 電話機について、次の情報を収集します。

- 電話機モデル
- MAC アドレス

- 電話機の設置場所
- 電話機のユーザの名前または ID
- デバイス プール
- パーティション、コーリング サーチ スペース、およびロケーションの情報
- 回線の数と、それに関連して電話機に割り当てる電話番号 (DN)
- 電話機に関連付ける Cisco Unified Communications Manager ユーザ
- 電話ボタン テンプレート、電話機能、IP 電話サービス、または電話アプリケーションに影響する、電話機の使用状況情報

この情報では、電話機をセットアップするための設定要件のリストを示します。また、個々の電話機を設定する前に実施する必要のある、電話ボタンテンプレートなどの前提的な設定作業を特定します。

ステップ 2 電話機に対応する十分なユニット ライセンスがあることを確認します。

ステップ 3 (必要に応じて) 回線ボタン、スピードダイヤルボタン、サービス URL ボタンを変更して、電話ボタンテンプレートカスタマイズします。[**デバイス (Device)**] > [**デバイス設定 (Device Settings)**] > [**電話ボタン テンプレート (Phone Button Template)**] を選択して、テンプレートの作成と更新を行います。

プライバシー、すべてのコール、モビリティ ボタンを追加して、ユーザのニーズに対応します。

詳細については、[電話ボタン テンプレート](#) を参照してください。

ステップ 4 デバイス プールを定義します。[**システム (System)**] > [**デバイス プール (Device Pool)**] を選択します。

デバイス プールは、デバイスに共通の特性 (リージョン、日時グループ、ソフトキー テンプレート、および MLPP 情報など) を定義します。

ステップ 5 共通の電話プロファイルを定義します。[**デバイス (Device)**] > [**デバイスの設定 (Device Settings)**] > [**共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)**] の順に選択します。

共通の電話プロファイルは Cisco TFTP サーバが要求するデータとともに、サイレントオプションおよび機能制御オプションなど、共通の電話の設定を提供します。

ステップ 6 コーリング サーチ スペースを定義します。Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[**コール ルーティング (Call Routing)**] > [**コントロールのクラス (Class of Control)**] > [**コーリング サーチ スペース (Calling Search Space)**] をクリックします。

コーリングサーチスペースは、着信番号のルーティング方法を決定するために検索されるパーティションのコレクションです。デバイス用のコーリングサーチスペースと電話番号用のコーリングサーチスペースは併用することができます。電話番号の CSS は、デバイスの CSS に優先します。

ステップ 7 デバイス タイプおよびプロトコルのセキュリティ プロファイルを設定します。[システム (System)] > [セキュリティ (Security)] > [電話セキュリティ プロファイル (Phone Security Profile)] を選択します。

ステップ 8 [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの必須フィールドに値を入力して、電話機を追加および設定します。フィールド名の横にあるアスタリスク (*) は、MAC アドレスやデバイス プールなどの必須フィールドを示します。

この手順は、デバイスをデフォルトの設定で Cisco Unified Communications Manager データベースに追加します。

[プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration)] フィールドについては、「?» ボタンヘルプ ([電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウ内) を参照してください。

(注) Cisco Unified Communications Manager データベースに電話機とユーザの両方を同時に追加する場合は、ご使用の Cisco Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。

ステップ 9 [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウの必須フィールドに値を入力して、電話機に電話番号 (回線) を追加し、設定します。フィールド名の横にあるアスタリスク (*) は、電話番号やプレゼンス グループなどの必須フィールドを示します。

この手順では、プライマリとセカンダリの電話番号、および電話番号に関連付ける機能を電話機に追加します。

(注) プライマリ電話番号を設定していない場合、ユーザの電話機に Unprovisioned のメッセージが表示されます。

ステップ 10 短縮ダイヤル ボタンを設定し、短縮ダイヤル番号を割り当てます。

ユーザは、Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルを使用することで、スピードダイヤルの設定値を電話機上で変更できます。

ステップ 11 Cisco Unified IP 電話 サービスを設定し、IP Phone サービスを提供するサービス (任意) を割り当てます。

ユーザは、Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルを使用して、電話機のサービスを追加または変更できます。

(注) ユーザが IP 電話サービスに登録できるのは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで IP 電話のサービスを最初に設定したときに、[エンタープライズ登録 (Enterprise Subscription)] チェックボックスをオフにしている場合だけです。

(注) シスコが提供する一部のデフォルトサービスは、エンタープライズ登録に分類されているため、ユーザはそれらをセルフ ケア ポータルから追加することはできません。このサービスは電話機にデフォルトで実装されているため、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで無効にした場合に限り電話機から削除できます。

ステップ 12 IP 電話のサービスや URL へのアクセスを提供するために、プログラム可能なボタン (オプション) にサービスを割り当てます。

- ステップ 13** 必須フィールドを設定して、ユーザ情報を追加します。フィールド名の隣のアスタリスク (*) は必須フィールドを示します。たとえば、ユーザー ID と姓です。この手順により、Cisco Unified Communications Manager のグローバルディレクトリにユーザー情報が追加されます。
- (注) パスワード (セルフケア ポータルの場合) と PIN (Cisco Extension Mobility または パーソナル ディレクトリの場合) を割り当てます。
 - (注) ユーザに関する情報を保存するために会社が Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリを使用している場合、既存の LDAP ディレクトリを使用するために Cisco Unified Communications をインストールして設定できます。
 - (注) Cisco Unified Communications Manager データベースに電話機とユーザの両方を同時に追加する場合は、ご使用の Cisco Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。
- ステップ 14** ユーザをユーザ グループに関連付けます。この手順では、ユーザ グループ内のすべてのユーザに適用される、共通のロールと権限のリストをユーザに割り当てます。管理者は、ユーザ グループ、ロール、および権限を管理することによって、システム ユーザのアクセス レベル (つまり、セキュリティのレベル) を制御できます。たとえば、ユーザをシスコの標準 CCM エンドユーザ グループに追加する必要があります。こうすると、ユーザが Cisco Unified Communications Manager のセルフ ケア ポータルにアクセスできるようになります。
- ステップ 15** ユーザを電話機に割り当てます (任意)。この手順では、コールの転送、スピードダイヤル番号やサービスの追加などについて、ユーザが電話機を制御できるようにします。
- 電話機の中には、会議室にある電話機など、ユーザが関連付けられないものもあります。
- ステップ 16** [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されていない場合は、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンド ユーザ (End User)] を選択して、設定の最後の作業を行います。[検索 (Search)] フィールドと [検索 (Find)] を使用してユーザ (例 : John Doe) を見つけた後、ユーザ ID をクリックして、そのユーザの [エンド ユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウを開きます。
- ステップ 17** 画面の [電話番号の割り当て (Directory Number Associations)] 領域で、ドロップダウンリストからプライマリ内線を設定します。
- ステップ 18** [モビリティ情報 (Mobility Information)] 領域で、[モビリティの有効化 (Enable Mobility)] ボックスをオンにします。
- ステップ 19** [権限情報 (Permissions Information)] 領域で、[ユーザ グループ (User Group)] ボタンを使用して、このユーザを任意のユーザ グループに追加します。
- たとえば、「標準 CCM エンドユーザ グループ」として定義されたグループに、ユーザを追加することができます。
- ステップ 20** 設定されているすべてのユーザ グループを表示するには、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ グループ (User Groups)] の順に選択します。
- ステップ 21** [エクステンション モビリティ (Extension Mobility)] 領域で、ユーザがクラスタ間のエクステンション モビリティ サービスを許可している場合は、[クラスタ間のエクステンション モビリティの有効化 (Enable Extension Mobility Cross Cluster)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 22 保存を選択します。

関連トピック


[Cisco Unified Communications Managerのマニュアル](#)

電話機の MAC アドレスの決定

Cisco Unified Communications Manager に電話機を追加するには、電話機の MAC アドレスを決定する必要があります。

手順

次のいずれかの操作を実行します。

- 電話機の [アプリケーション (Applications)]  を押し、[電話の情報 (Phone Information)] を選択して、[MAC アドレス (MAC Address)] フィールドを確認する。
- 電話機の背面にある MAC ラベルを確認する。
- 電話機の Web ページを表示し、[デバイス情報 (Device Information)] を選択する。

電話機の追加方法

Cisco IP 電話をインストールしたら、次のオプションの 1 つを選択して、電話機を Cisco Unified Communications Manager データベースに追加できます。

- Cisco Unified Communications Manager の管理で個別に電話機を追加する
- 一括管理ツール (BAT) を使用して複数の電話を追加する
- 自動登録
- BAT と Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS)

個別に、または BAT を使用して電話機を追加する前に、電話機の MAC アドレスが必要です。詳細については、[電話機の MAC アドレスの決定 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

一括管理ツールの詳細については、ご使用の Cisco Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。

電話機の個別の追加

Cisco Unified Communications Manager に追加する電話機の MAC アドレスおよび電話機情報を収集します。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加] をクリックします。
- ステップ 3 電話機のタイプを選択します。
- ステップ 4 [次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 5 MAC アドレスを含む電話機の情報を入力します。

Cisco Unified Communications Manager の手順の詳細と概要については、ご使用の Cisco Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。

- ステップ 6 保存を選択します。

関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager のマニュアル](#)

BAT 電話テンプレートを使用した電話機の追加

Cisco Unified Communications 一括管理ツール (BAT) を使用すると、複数の電話機の登録などのバッチ操作を実行できます。

(TAPS と組み合わせずに) BAT だけを使用して電話機を追加するには、各電話機の適切な MAC アドレスを取得する必要があります。

BAT の使用の詳細については、ご使用の Cisco Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Administration から、[一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話テンプレート (Phone Template)] の順に選択します。
- ステップ 2 [新規追加] をクリックします。
- ステップ 3 [電話のタイプ (Phone Type)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 4 [デバイスプール (Device Pool)]、[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)]、[デバイスセキュリティプロファイル (Device Security Profile)] など、電話固有の詳細なパラメータを入力します。
- ステップ 5 [保存] をクリックします。

ステップ 6 BAT 電話テンプレートを使用して電話機を追加するには、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] > [新規追加 (Add New)] を選択します。

関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager のマニュアル](#)

Cisco Unified Communications Manager におけるユーザーの追加

Cisco Unified Communications Manager に登録されているユーザに関する情報を表示および管理できます。また、Cisco Unified Communications Manager で各ユーザは次のタスクを実行できます。

- Cisco IP 電話 から、社内ディレクトリや他のカスタマイズ済みディレクトリにアクセスする。
- パーソナル ディレクトリを作成する。
- 短縮ダイヤルとコール転送の番号をセットアップする。
- Cisco IP 電話 からアクセスできるサービスに登録する。

手順

ステップ 1 ユーザを個別に追加するには、[Cisco Unified Communications Manager にユーザを直接追加する \(8 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 2 ユーザを一括して追加するには、一括管理ツールを使用します。この方法では、すべてのユーザに対して同一のデフォルト パスワードを設定することもできます。

詳細については、お使いの Cisco Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。

関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager のマニュアル](#)

外部 LDAP ディレクトリからのユーザーの追加

ユーザを LDAP ディレクトリ (Cisco Unified Communications Server ではないディレクトリ) に追加した場合、LDAP ディレクトリと、ユーザおよびその電話機が追加される Cisco Unified Communications Manager を即時に同期できます。



- (注) LDAP ディレクトリを Cisco Unified Communications Manager と即時に同期しない場合は、[LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)] ウィンドウの [LDAP ディレクトリ同期スケジュール (LDAP Directory Synchronization Schedule)] で、次回の自動同期化スケジュールを決定できます。新規ユーザをデバイスに関連付けるには、その前に同期を完了しておく必要があります。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の管理ページにサインインします。
- ステップ 2 [システム (System)] > [LDAP] > [LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)] を選択します。
- ステップ 3 [検索 (Find)] を使用して LDAP ディレクトリを見つけます。
- ステップ 4 LDAP ディレクトリ名をクリックします。
- ステップ 5 [Perform Full Sync Now (完全同期を今すぐ実施)] をクリックします。

Cisco Unified Communications Manager にユーザを直接追加する

Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリを使用しない場合、次の手順に従って、Cisco Unified Communications Manager Administration で直接ユーザを追加することができます。



- (注) LDAP が同期している場合、ユーザを Cisco Unified Communications Manager の管理ページに追加できません。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の管理で、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加] をクリックします。
- ステップ 3 [ユーザ情報 (User Information)] ペインで、次の情報を入力します。
- ユーザー ID : エンドユーザ認証名を入力します。Cisco Unified Communications Manager では作成後のユーザー ID の変更は許可されません。姓に使用できる特殊文字は、=、+、<、>、#、;、\、「」、および空白です。例 : johndoe
 - [パスワード (Password)] および [パスワードの確認 (Confirm Password)] : エンドユーザのパスワードとして、5 文字以上の英数字または特殊文字を入力します。姓に使用できる特殊文字は、=、+、<、>、#、;、\、「」、および空白です。

- 姓：エンドユーザの姓を入力します。使用できる特殊文字: =, +, <, >, #, ;, \, , 「」、および空白スペースです。例：doe
- [電話番号 (Telephone Number)]：エンドユーザのプライマリ電話番号を入力します。エンドユーザは、電話機に複数の回線を接続できます。例：26640 (John Doe の社内電話番号)

ステップ4 [保存] をクリックします。

エンドユーザグループにユーザを追加する

ユーザを Cisco Unified Communications Manager の標準エンドユーザグループに追加するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ1 Cisco Unified Communications Manager の管理ページから、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [アクセスコントロールグループ (Access Control Group)] を選択します。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。

ステップ2 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。

ステップ3 [標準 CCM エンドユーザ (Standard CCM End Users)] リンクを選択します。対象の標準 CCM エンドユーザについての [ユーザグループの設定 (User Group Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ4 [グループにエンドユーザを追加 (Add End Users to Group)] を選択します。[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。

ステップ5 [ユーザの検索 (Find User)] ドロップダウンリストボックスを使用して、追加するユーザを探し、[検索 (Find)] をクリックします。

検索条件に一致するユーザのリストが表示されます。

ステップ6 表示されるレコードのリストで、このユーザグループに追加するユーザのチェックボックスをクリックします。リストが長い場合は、下部のリンクを使用すると、さらに多くの結果を表示できます。

(注) 検索結果のリストには、すでにそのユーザグループに属しているユーザは表示されません。

ステップ7 [選択項目の追加 (Add Selected)] を選択します。

電話機とユーザの関連付け

Cisco Unified Communications Manager の [エンド ユーザ (End User)] ウィンドウから、電話機をユーザに関連付けます。

手順

ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の管理ページから、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンド ユーザ (End User)] の順に選択します。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 3 表示されるレコードのリストで、ユーザのリンクを選択します。

ステップ 4 [デバイスの割り当て (Device Associations)] を選択します。

[ユーザデバイス割り当て (User Device Association)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 6 デバイスの左にあるボックスをオンにして、ユーザに関連付けるデバイスを選択します。

ステップ 7 [選択/変更の保存 (Save Selected/Changes)] を選択して、デバイスをユーザに関連付けます。

ステップ 8 ウィンドウの右上にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストから、[ユーザの設定に戻る (Back to User)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。

[エンド ユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択した関連付けられたデバイスが [制御するデバイス (Controlled Devices)] ペインに表示されます。

ステップ 9 [選択/変更の保存 (Save Selected/Changes)] を選択します。

Survivable Remote Site Telephony

Conference Bridge Setup (SRST) 機能は、WAN 接続が失われた場合にも、基本的な電話機の機能を提供します。このシナリオでは、電話機は進行中のコールをアクティブなまま保持し、ユーザは使用可能な機能のサブセットにアクセスできます。フェールオーバーが発生すると、ユーザの電話機にアラートメッセージが表示されます。

サポートされているファームウェアおよび Survivable Remote Site Telephony に関する詳細は、Cisco.com の「*Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony Compatibility Information*」のページ (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-survivable-remote-site-telephony/products-device-support-tables-list.html>) を参照してください。

次の表は、フェールオーバー中の機能の利用可能性について説明します。

表 1: SRST 機能のサポート

機能	サポートあり	注
発信	はい	
終了	はい	
リダイヤル	はい	
回答	はい	
保留	はい	
再開	はい	
会議	はい	
アクティブ コールへの会議 (参加)	なし	[アクティブコール (Active Calls)] ソフトキーは表示されません。
会議リスト	なし	
転送	はい	
アクティブ コールへの転送 (直接転送)	なし	
自動応答	はい	
コール待機	はい	
発信者 ID	はい	
オーディオ メッセージ受信インジケータ	はい	
すべてのコールのプログラマブル回線キー	はい	
応答のプログラマブル回線キー	はい	
統合セッション表示	はい	他の機能により制限されるため、会議が唯一サポートされている機能です。
ボイスメール	はい	ボイスメールは Cisco Unified Communications Manager クラスタの他のユーザと同期されません。

機能	サポートあり	注
不在転送	はい	転送ステータスは SRST モードにシェアドライン アピアランスがないため転送を設定する電話機でのみ使用できません。[すべてのコールの転送 (Call Forward All)] 設定は、Cisco Unified Communications Manager から SRST へのフェールオーバーまたは SRST から Communications Manager へのフェールバックには保存されません。Communications Manager で引き続きアクティブな元の [すべてのコールの転送 (Call Forward All)] は、フェールオーバー後にデバイスが Communications Manager に再接続されると表示される必要があります。
短縮ダイヤル	はい	
サービス IRL プログラマブル回線キー	はい	
ボイスメールへ (即転送)	なし	[即転送 (iDivert)] ソフトキーは表示されません。
回線フィルタ	一部	回線はサポートされますが、共有できません。
パーク モニタリング	なし	[パーク (Park)] ソフトキーが表示されません。
割り込み	なし	[割り込み (Barge)] ソフトキーは表示されません。
拡張メッセージ待機インジケータ	なし	メッセージ数のバッジは、電話スクリーンに表示されません。 [メッセージ受信 (Message Waiting)] アイコンのみが表示されます。
ダイレクト コール パーク	なし	ソフトキーは表示されません。
BLF	一部	BLF 機能キーはスピードダイヤルキーのように動作します。
保留復帰	なし	コールは、無期限で保留状態になります。

機能	サポートあり	注
リモート回線の保留	なし	コールは、内線保留コールとして表示されます。
ミーティング	なし	[ミーティング (Meet Me)] ソフトキーが表示されません。
ピックアップ	なし	ソフトキーを押しても何も実行されません。
グループ ピックアップ	なし	ソフトキーを押しても何も実行されません。
その他のグループ ピックアップ	なし	ソフトキーを押しても何も実行されません。
迷惑呼 ID	なし	ソフトキーを押しても何も実行されません。
QRT	なし	ソフトキーを押しても何も実行されません。
ハントグループ	なし	ソフトキーを押しても何も実行されません。
インターコム	なし	ソフトキーを押しても何も実行されません。
モビリティ	なし	ソフトキーを押しても何も実行されません。
プライバシー	なし	ソフトキーを押しても何も実行されません。
折り返し	なし	[折り返し (Call Back)] ソフトキーが表示されません。
ビデオ	はい	ビデオ会議はサポートされません。
ビデオ	はい	ビデオ会議はサポートされません。
共有回線	なし	
BLF スピードダイヤル	はい	

Enhanced Survivable Remote Site Telephony

Enhanced Survivable Remote Site Telephony (E-SRST) 機能は、WAN 接続が失われても、追加の電話機の機能へは引き続きアクセスできるようにします。Survivable Remote Site Telephony(SRST)によってサポートされている機能の他に、E-SRSTは以下をサポートしています。

- 共有回線
- ビジー ランプ フィールド (BLF)
- ビデオ コール

サポートされているファームウェアおよび Survivable Remote Site Telephony に関する詳細は、Cisco.com の「*Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony Compatibility Information*」のページ (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-survivable-remote-site-telephony/products-device-support-tables-list.html>) を参照してください。

アプリケーションダイヤルルール

アプリケーションダイヤルルールは、携帯電話の連絡先共有番号をネットワークでダイヤル可能な番号へ変換するために使用されます。アプリケーションダイヤルルールは、ユーザが番号を手動でダイヤルしている時、もしくはユーザによってコールが発信される前に番号が編集された場合は、適用されません。

アプリケーションダイヤルルールがCisco Unified Communications Managerに設定されます。

ダイヤルルールの詳細については、『*System Configuration Guide for Cisco Unified Communications Manager*』の「Configure Dial Rules」の章を参照してください。

アプリケーションダイヤルルールの設定

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager Administration で、[コールルーティング (Call Routing)] > [ダイヤルルール (Dial Rules)] > [アプリケーションダイヤルルール (Application Dial Rules)] に移動します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックして新しいアプリケーションダイヤルルールを作成するか、既存のアプリケーションダイヤルルールを選択して編集します。
- ステップ 3** 次のフィールドに入力します。
 - [名前 (Name)]: ダイヤルルールの一意的な名前を入力します。名前には最長 20 文字の英数字を指定でき、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、アンダースコア (_) を任意に組み合わせて使用できます。

- [説明 (Description)] : このフィールドには、ダイヤルルールの簡単な説明を入力します。
- [開始番号 (Number BeginsWith)] : このアプリケーションダイヤルルールを適用するディレクトリ番号の先頭部分の数字を入力します。
- [桁数 (Number of Digits)] : この必須フィールドには、アプリケーションダイヤルルールを適用するディレクトリ番号の先頭部分の数字を入力します。
- [削除する合計桁数 (Total Digits to be Removed)] : この必須フィールドには、ダイヤルルールに適用する、Cisco Unified Communications Manager によってディレクトリ番号から削除する桁数を入力します。
- [プレフィックスパターン (Prefix With Pattern)] : この必須フィールドには、アプリケーションダイヤルルールに適用する、ディレクトリ番号に付加するパターンを入力します。
- [アプリケーションダイヤルルール優先順位 (Application Dial Rule Priority)] : このフィールドは、[プレフィックスパターン (Prefix With Pattern)]に入力すると表示されます。アプリケーションダイヤルルールの優先順位を設定することができます。

ステップ 4 Cisco Unified Communications Manager を再起動します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。